

「やまゆり1号車」の良好な保存及び展示を求める請願

請願要旨

「福祉のまち まちだ」で昭和47年4月に、市内入所施設から街への外出がままならない青年たちの為、町田市といすゞ自動車㈱の共同研究・開発により、日本で最初の車いす専用バス「やまゆり1号」車が誕生しました。開発などにあたっては、車内での車いす安全確保装置開発などに大変なご苦勞があったことを承知しております。

車いす専用バスは高価で、個人はもとより、施設での導入も困難な時代が続いておりました。その後技術開発と、各自動車メーカーの生産が進み、日本テレビによる、「24時間テレビ」番組での国民の寄付によるリフト車寄贈や、近年では、日本財団を始めとした寄贈事業を行っている団体も増加してまいりました。また、行政による支援制度なども創設され、普及が進み、障がいを持った方々の地域社会における生活環境は格段に向上しました。

現在、「やまゆり1号」車はその役割を終え、中町2丁目 すみれ会館前に展示保存されています。しかし保存にあたっての、環境は必ずしも良好とは言えず、外観から見ても、館外に展示されていることもあって、塗装などの傷みは進行しています。

そこで町田市のみならず、日本における福祉文化財である、「やまゆり1号」車を後世まで保存し伝承していくことは、市民の責務であると思量し、請願をいたします。

請願事項

「やまゆり1号」車を、環境の良好な保存及び展示をしていただけるよう、町田市に請願致します。